令和8年度　知念城跡西側城壁保存修理工事

位 置 案 内 図

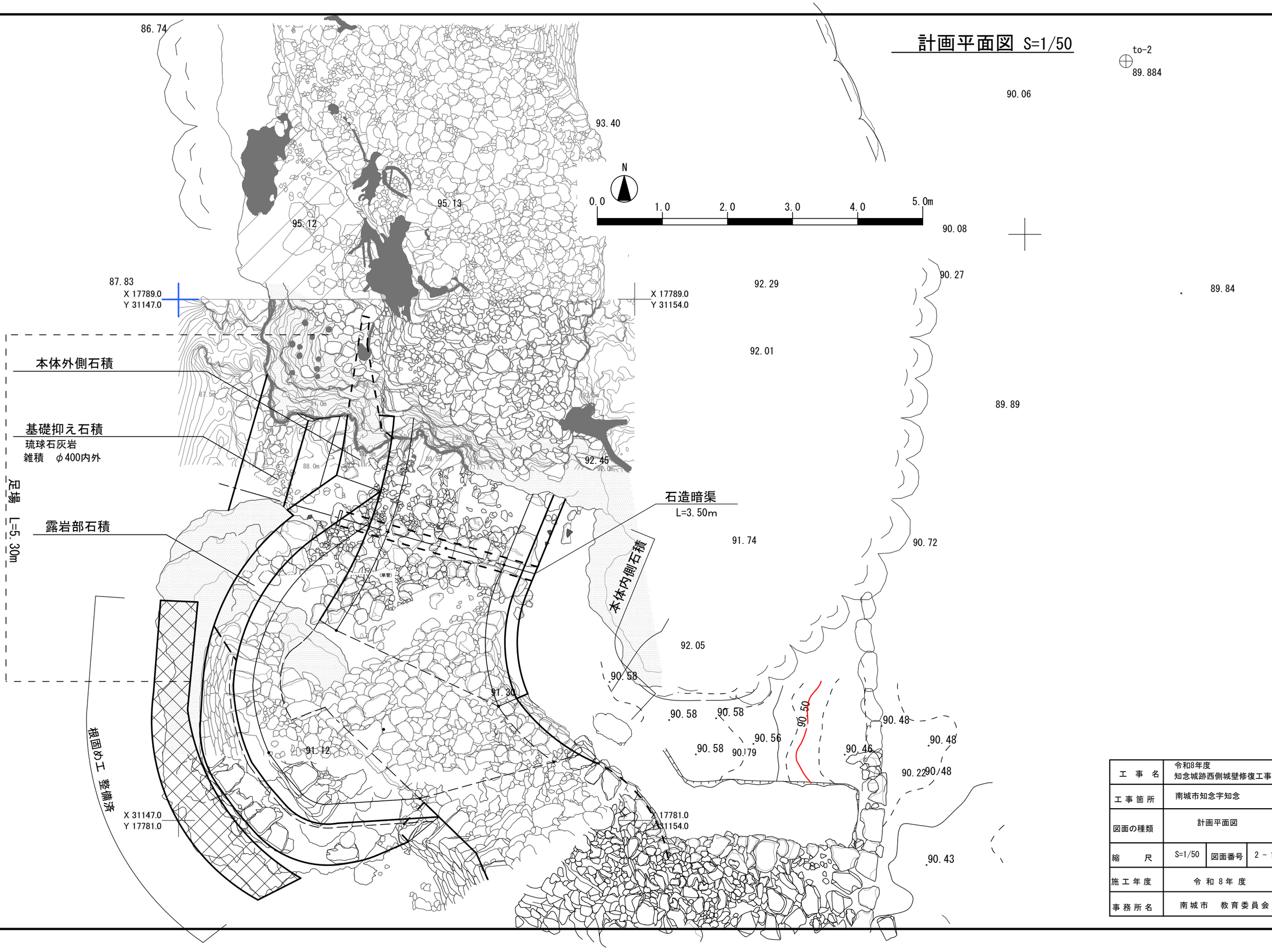


図 面 目 録

番号	図　面　名　称	縮　尺
２－１	計画平面図	1/50
２－２	石積詳細図	図　示



計画平面図 S=1/50



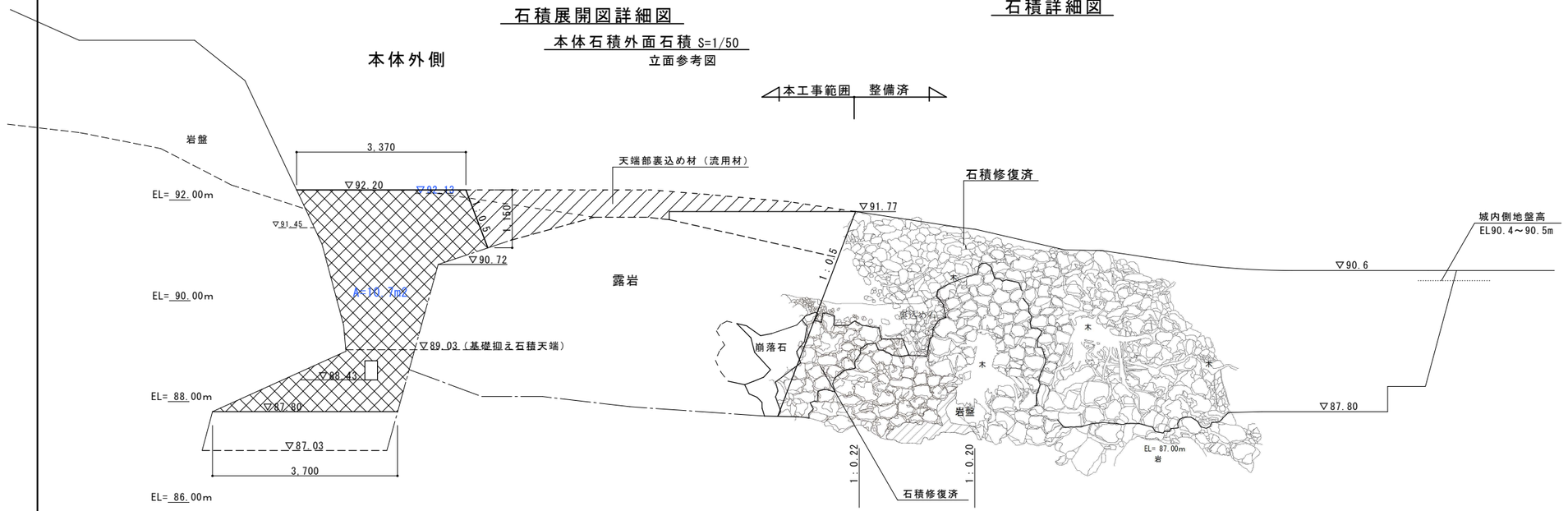
工　事　名	令和8年度 知念城跡西側城壁修復工事		
工事箇所	南城市知念字知念		
図面の種類	計画平面図		
縮　　尺	S=1/50	図面番号	2 - 1
施工年度	令 和 8 年 度		
事務所名	南城市　教育委員会		

石積展開図詳細図

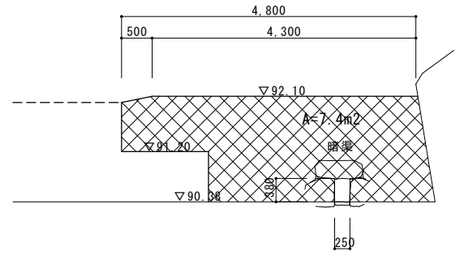
本体石積外面石積 S=1/50

立面参考図

本体外側

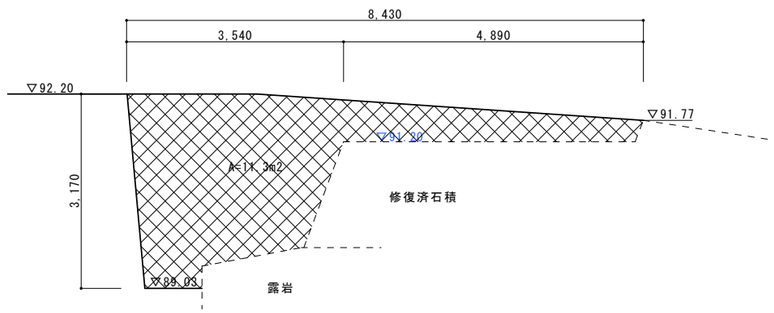


本体石積内側

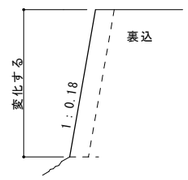


基礎抑え石積展開図

露岩部石積



露岩部石積標準図 S=1/50



高さ（天端より）	石材規格（雑相方積み）
2.5m以内	面200～300控え400内外　60% 面300～500控え750内外　40%　（力石）
2.5m以上	面300～500控え750内外

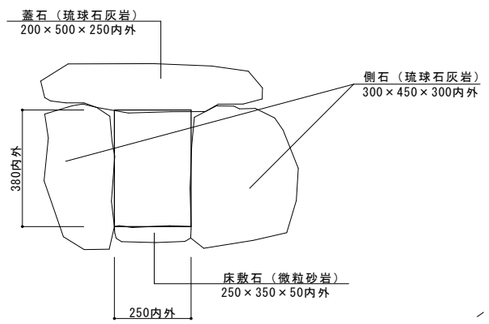
凡　例

整備対象石積

注）・展開図に示す高さ等は現況図の読み取り（実測値ではない）
・仕上げ高さは目安を示す
・展開図に示す面積は斜比を考慮していない

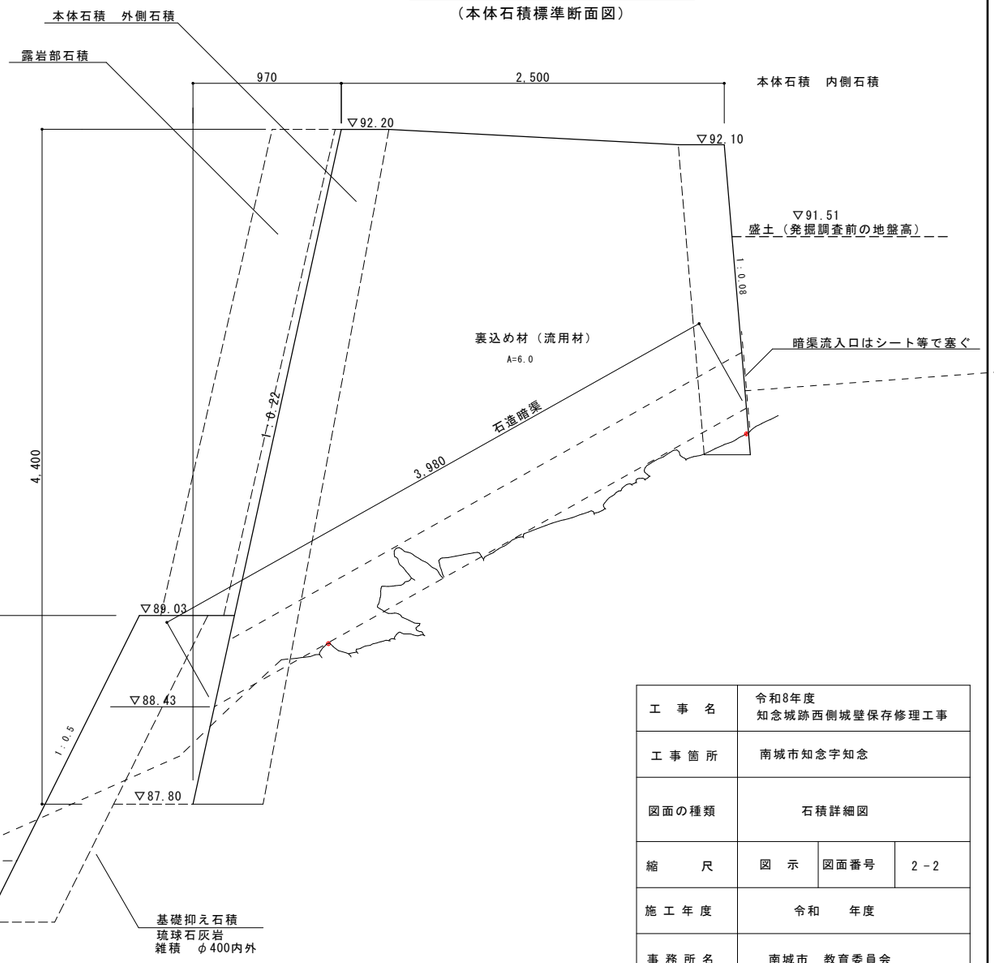
注）・石積を取外す際には石材毎にナンバリングを行い、監督職員の立会い確認を行う事。
・石積勾配は根石の確認後に丁張を設置し、監督職員の承認を得る事。
・新規石積は合端の加工や積み方が遺構石積と整合がとれる様に行う事。
また、事前にサンプル積を行い、監督職員の承認を得る事。
・積直し又は新規石積の際には、遺構石積との境界に鉛板を設置する事。
・石積ではカ石（面及び控えの大きな石材）を設置する事。
・面石の控えと胴込材はしっかりとかみ合わせる事。
・石積天端はそろえない事。
・その他　・・　監督員と調整を密にすること。

石造暗渠標準断面図 S=1/10



整備計画標準断面図 S=1/20

（本体石積標準断面図）



工　事　名	令和8年度 知念城跡西側城壁保存修理工事		
工事箇所	南城市知念字知念		
図面の種類	石積詳細図		
縮　　尺	図　示	図面番号	2－2
施工年度	令和　　年度		
事務所名	南城市　教育委員会		

計画平面図 S=1/50

N

0.0 1.0 2.0 3.0 4.0 5.0m

to-2
89.884

86.74
93.40
95.13
95.12
87.83
X 17789.0
Y 31147.0
X 17789.0
Y 31154.0
92.29
92.01
92.45
91.74
92.05
91.30
91.12
90.58
90.58
90.58
90.56
90.58
90.79
90.50
90.48
90.48
90.46
90.22
90.48
90.43
90.06
90.08
90.27
89.84
89.89
90.72
X 31147.0
Y 17781.0
X 17781.0
Y 31154.0

本体外側石積

基礎抑え石積
琉球石灰岩
雑積　φ400内外

足場　L=5.30m

露岩部石積

石造暗渠
L=3.50m

本体内側石積

今年度整備範囲

根固め工　整備済

凡　例

今年度整備範囲

堆積土除去範囲

工事名	令和8年度 知念城跡西側城壁修復工事		
工事箇所	南城市知念字知念		
図面の種類	計画平面図		
縮尺	S=1/50	図面番号	2－1
施工年度	令和8年度		
事務所名	南城市　教育委員会		